

兵庫県下の経済動向

平成28年12月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	1 0
物 価	．．．．．	1 1
雇 用	．．．．．	1 3
信 用 保 証	．．．．．	1 5
金 融	．．．．．	1 6
倒 産	．．．．．	1 7

【概 況】

最近の県内景気は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかに回復している。

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、底堅く推移している。

また、設備投資は増加し、住宅投資は横ばい圏内で推移している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が10か月連続して前年実績を下回った。

乗用車販売は、6か月ぶりに前年実績を上回った。

家電販売は、緩やかに持ち直しつつある。

設備投資は、28年度は増加となる見込み。

住宅投資は、全体で2か月連続して前年を上回った。

公共工事請負金額は、神戸市で大幅増となるも、国、その他の団体、兵庫県、独立行政法人等で大幅減、神戸市を除く市町で減少となった。

貿易は、輸出は、中国、EU、米国向けが減少したため9か月連続して前年を下回った。輸入は、アジア、中国が減少したため14か月連続して前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、3か月ぶりに前年を下回った。

雇用関係では、新規求人数、有効求人倍率ともに前年を上回った。

また、常用労働者数は前年を上回ったが、一人当たり名目賃金および所定外労働時間は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を下回ったが、負債金額は前年を上回った。

兵庫C I 及び兵庫D I から見た県内の景気動向

9月の兵庫C Iは、先行指数97.0、一致指数110.4、遅行指数101.8となった。

9月の兵庫D Iは、先行指数71.4%、一致指数62.5%、遅行指数37.5%となった。

兵庫C Iは、先行指数は2か月連続で前月差増、一致指数は4か月ぶりに前月差増、遅行指数は2か月ぶりに前月差増となった。

一方、兵庫D Iは、先行指数が5か月連続で50%を上回った。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、悪化を示している。」としている。

*兵庫D I と兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。
--

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

10月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は97.2、前月比6.9%減。出荷指数は95.3、同8.7%減。在庫指数は110.3、同2.5%減。在庫率は114.0、同0.4%増。生産指数、出荷指数ともに3か月ぶりに減少、在庫指数は2か月連続で減少した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比2.8%減で2か月ぶりに減少、出荷は同7.3%減で3か月ぶりに減少、在庫は同1.6%増で9か月連続して増加した。

主要業種の生産動向を対前月比でみると、「食料品工業」(清酒等)が0.1%、「情報通信機械工業」(固定通信装置等)が0.1%、「化学工業」(医薬品等)が0.6%、「鉄鋼業」(鋼半製品等)が0.8%、「窯業・土石製品工業」(ほうろう鉄器製品等)が1.1%、「金属製品工業」(ガス湯沸器等)が2.3%、「電気機械工業」(開閉制御装置等)が10.1%、「はん用・生産用・業務用機械工業」(一般用蒸気タービン等)が10.3%、「輸送機械工業」(旅客車等)が28.8%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「緩やかな持ち直しの動きがみられる。」とした。

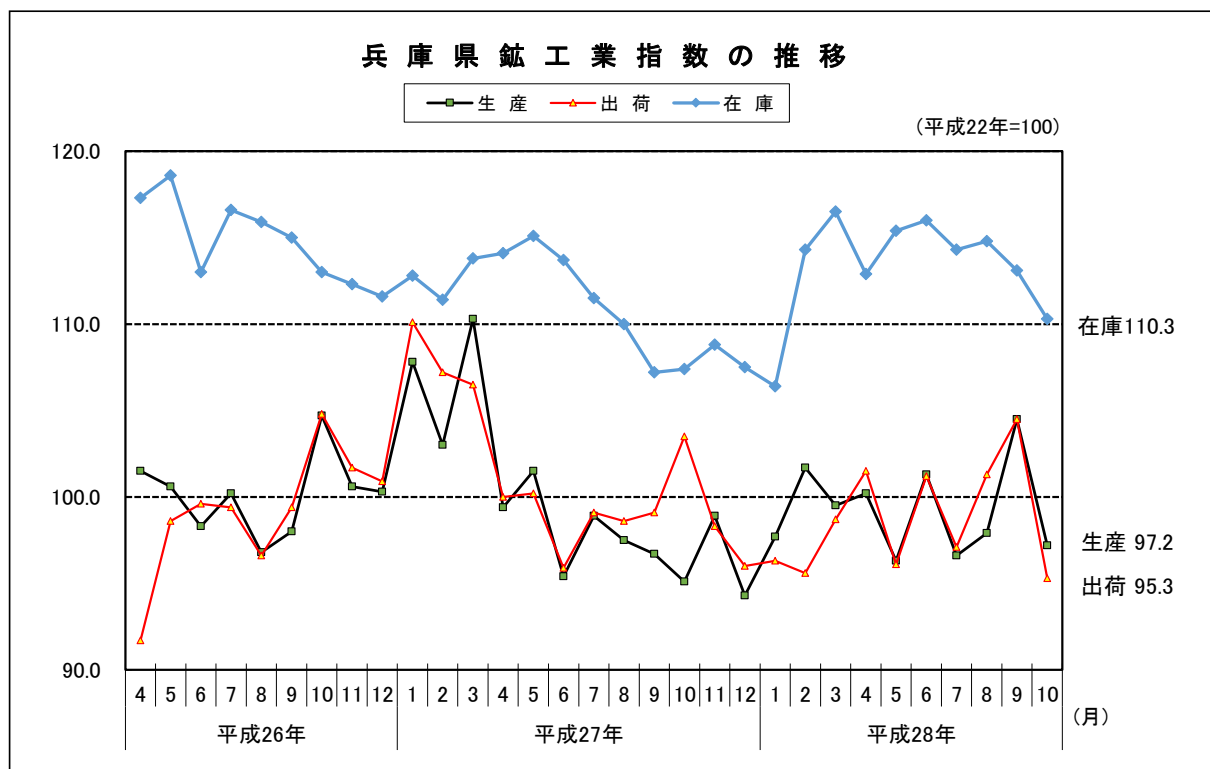
10月の兵庫県鉱工業指数

(速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減 (%)
生 産	97.2	▲ 6.9	95.2	▲ 2.8
出 荷	95.3	▲ 8.7	98.0	▲ 7.3
在 庫	110.3	▲ 2.5	111.6	1.6
在 庫 率	114.0	0.4	120.1	7.9

資料：兵庫県企画県民部統計課

兵庫県鉱工業指数の推移



10月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	94.8	▲ 0.8	上昇	亜鉛めっき鋼板、鋳鉄管、H形鋼、普通鋼冷延広幅帯鋼
			低下	鋼半製品、粗鋼、鍛鋼品、銑鉄
金属製品 工 業	81.6	▲ 2.3	上昇	作業工具、ねじり棒ばね、うす板ばね、線ばね
			低下	ガス湯沸器、石油温水給湯暖房機、ガス温水給湯暖房機、 超硬チップ
はん用・生産 用・業務用 機械工業	80.9	▲10.3	上昇	ボイラ部品、蒸気タービン部品、機械式駐車装置、油圧 バルブ
			低下	一般用蒸気タービン、ショベル系掘削機械、熱交換器、 圧縮機
電気機械 工 業	134.1	▲10.1	上昇	電力変換装置、保護継電器、リチウムイオン蓄電池、H I Dランプ
			低下	開閉制御装置、非標準油入り変圧器(10000kVA 以上)、ク ッキングヒーター、一般用タービン発電機
情報通信 機械工業	116.5	▲ 0.1	上昇	ノート型パソコン、無線位置測定装置、レーダ装置、カー オーディオ
			低下	固定通信装置、携帯電話、カーナビゲーション、テレメ ータ・テレコントロール
輸送機械 工 業	110.4	▲28.8	上昇	特装ボデー、駆動伝導・操縦装置部品、機体部品、機関 部品
			低下	旅客車、発動機部品、内燃機関電装品、懸架制動装置部 品
窯業・土石 製品工業	105.2	▲ 1.1	上昇	ガラス製容器類、セメント、タイル、道路用コンクリー ト製品
			低下	ほうろう鉄器製品、複層ガラス、空洞コンクリートブロ ック、遠心力鉄筋コンクリート管
化学工業	105.6	▲ 0.6	上昇	自動車排気ガス浄化用触媒、アクリル酸エステル、水系 合成樹脂塗料、シクロヘキサン
			低下	医薬品、化粧品、エポキシ樹脂、酸素
食料品工業	94.6	▲ 0.1	上昇	配合飼料、砂糖、塩、冷凍調理食品
			低下	清酒、ビール類、肉製品、しょうゆ

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた11月の県内百貨店売上高は、前年同月比5.1%減の156億2,156万円で、4か月連続で前年実績を下回った。

11.6%減と落ち込みが大きかった雑貨部門では、特に美術・宝石・貴金属が21.4%減少し、前年に好調だった富裕層による消費の低迷が浮き彫りとなった。婦人服・洋品は2.3%減で、減少は比較的小幅だった。休日が前年比で1日減ったことも客足に響いた。

神戸地区は4.6%減、姫路・加古川地区は7.3%減だった。

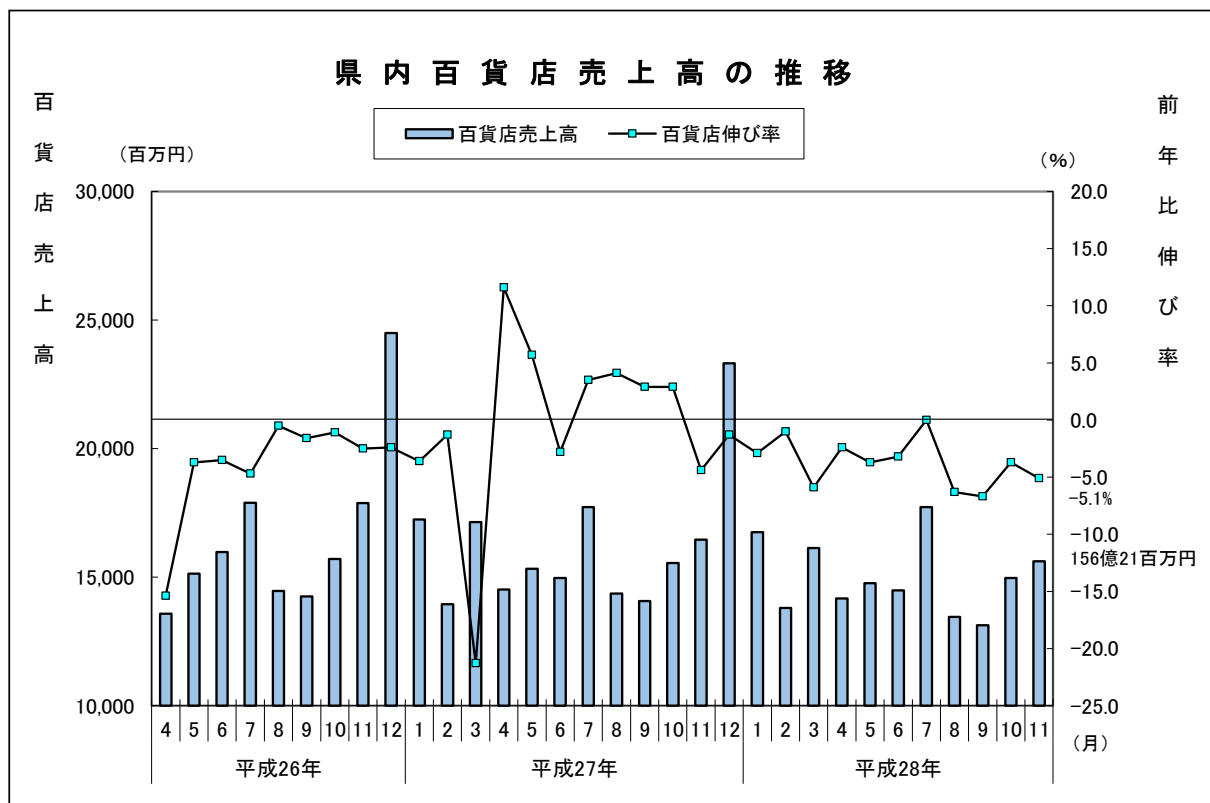
11月の県内百貨店売上高

品 目 \ 地 区	神 戸	姫路・加古川	合 計
紳 士 服 ・ 洋 品	786(▲ 6.4)	186(▲16.9)	973(▲ 8.6)
婦 人 服 ・ 洋 品	4,203(▲ 1.9)	544(▲ 5.4)	4,747(▲ 2.3)
子 供 服 ・ 洋 品	295(▲ 6.2)	74(▲13.6)	370(▲ 7.8)
身 の 回 り 品	1,100(▲10.1)	231(▲ 2.4)	1,332(▲ 8.9)
雑 貨	2,204(▲10.4)	324(▲18.8)	2,528(▲11.6)
家 庭 用 品	454(▲10.6)	152(8.0)	607(▲ 6.6)
食 料 品	3,389(▲ 1.0)	802(▲ 5.7)	4,191(▲ 1.9)
そ の 他	608(▲ 1.2)	261(▲ 1.2)	870(▲ 1.2)
計	13,042(▲ 4.6)	2,578(▲ 7.3)	15,621(▲ 5.1)

※ 単位百万円、百万円未満切捨て。() 内は、前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内 11 月の乗用車新車登録台数は 13,901 台、前年同月比 8.0%増と 2 か月連続して前年同月の実績を上回った。

11 月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は 5,272 台(前年同月比 17.2%増)、小型乗用車は 4,297 台(同 11.1%増)、軽乗用車は 4,332 台(同 3.8%減)、乗用車合計で 13,901 台(同 8.0%増)となった。

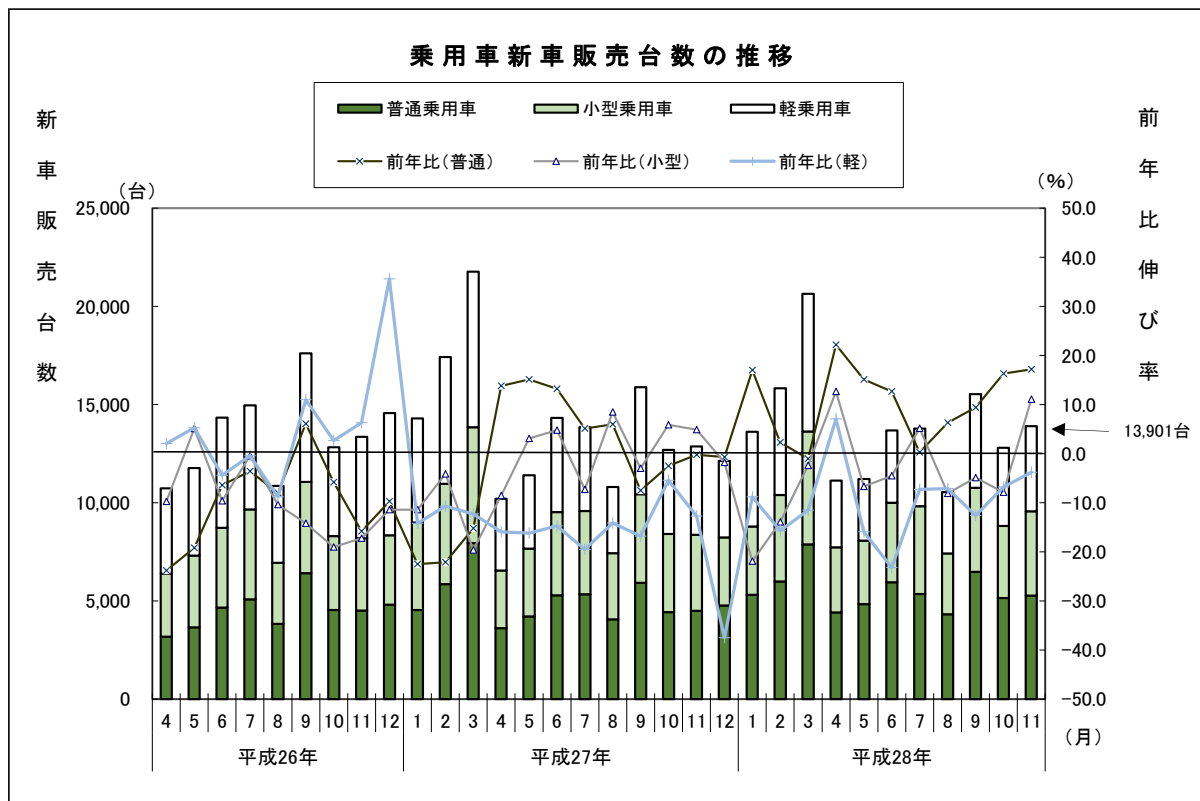
また貨物車等では、普通貨物車は 374 台(前年同月比 4.2%増)、小型貨物車は 665 台(同 0.7%減)、軽貨物車は 1,039 台(同 8.1%増)、バスは 24 台(同 84.6%増)となった。

11 月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車 種	兵 庫 県	前年同月比	全 国	前年同月比
普 通 乗 用 車	5,272	17.2	117,285	15.4
小 型 乗 用 車	4,297	11.1	118,586	17.0
軽 乗 用 車	4,332	▲ 3.8	105,958	▲ 4.6
乗 用 車 合 計	13,901	8.0	341,829	8.8
普 通 貨 物 車	374	4.2	14,829	7.4
小 型 貨 物 車	665	▲ 0.7	21,306	▲ 3.4
軽 貨 物 車	1,039	1.0	38,593	1.7
貨 物 車 合 計	1,676	8.1	74,728	1.2
バ ス	24	84.6	1,036	9.2
登 録 車 総 計	16,640	7.6	417,593	7.4

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が12月12日に発表した機械受注統計によると、平成28年10月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成28年9月前月比0.9%増の後、10月は同3.3%増の2兆1,486億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、9月前月比3.3%減の後、10月は同4.1%増の8,783億円となった。

内訳をみると、製造業は同1.4%減の3,310億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同4.6%増の5,336億円であった。

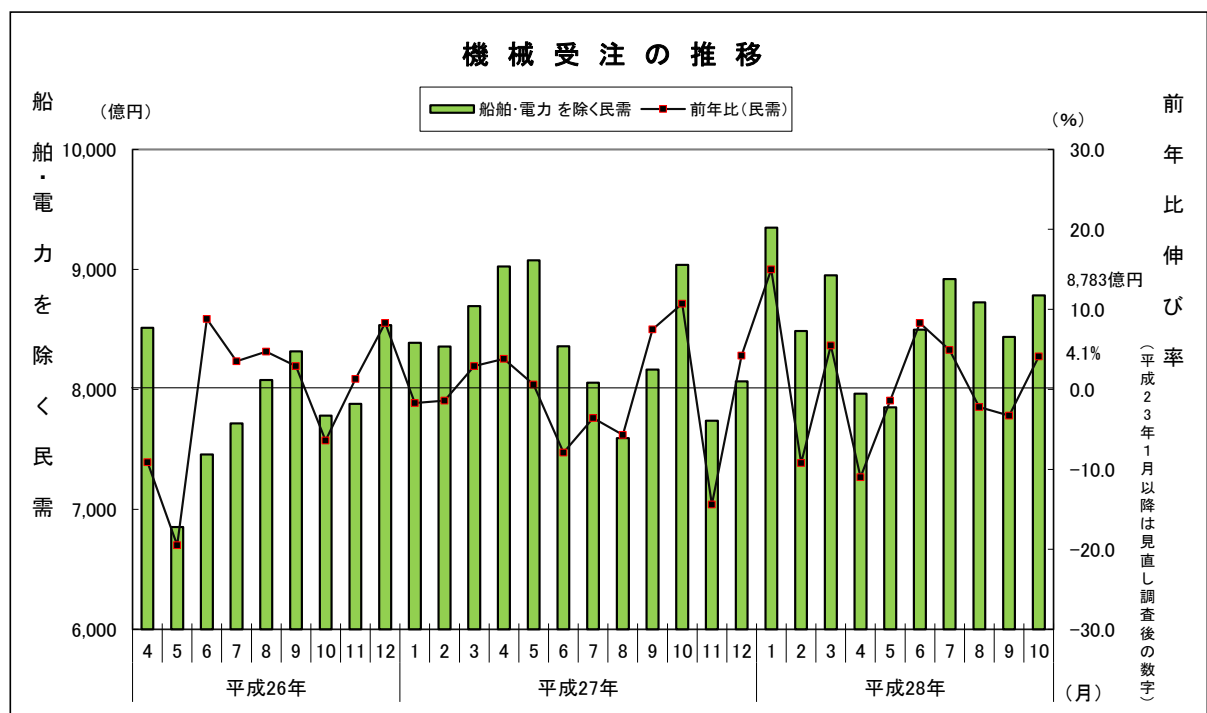
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品(333.0%増)、金属製品(59.2%増)、化学工業(57.3%増)、鉄鋼業(26.6%増)、造船業(26.6%増)、パルプ・紙・紙加工品(22.8%増)、情報通信機械(5.9%増)、食品製造業(4.8%増)、その他輸送用機械(2.4%増)、繊維工業(1.8%増)等の10業種で、窯業・土石製品(0.3%減)、自動車・同付属品(0.4%減)、業務用機械(1.4%減)、「その他製造業」(6.5%減)、はん用・生産用機械(11.2%減)、電気機械(26.2%減)、非鉄金属(69.6%減)等の7業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、「その他非製造業」(56.0%増)、電力業(33.0%増)、農林漁業(26.7%増)、通信業(13.4%増)、情報サービス業(9.4%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(8.4%増)等の6業種で、建設業(15.3%減)、金融業・保険業(17.5%減)、リース業(17.7%減)、卸売業・小売業(28.8%減)、運輸業・郵便業(38.2%減)、不動産業(39.8%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2016年度設備投資額は、非製造業が横ばいの一方、製造業が増加計画であることから、全産業では増加計画。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2016年10月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比+28.2%（製造業+38.0%、非製造業0.0%）



機 械 受 注 統 計 （平成 28 年 10 月分）

	27 年 10～12 月 実績	28 年 1～3 月 実績	4～6 月 実績	7～9 月 実績	10～12 月 見通し	28 年 7 月 実績	8 月 実績	9 月 実績	10 月 実績
受 注 総 額	72,164 (4.6) [8.1]	69,021 (-4.4) [-2.5]	64,834 (-6.1) [-9.6]	62,916 (-3.0) [-9.0]	62,118 (-1.3) [-10.4]	21,489 (-2.8) [-12.8]	20,619 (-4.0) [-4.0]	20,808 (0.9) [-9.3]	21,486 (3.3) [-21.1]
民 需	30,832 (6.3) [6.6]	34,667 (12.4) [4.5]	28,742 (-17.1) [-6.1]	29,347 (2.1) [0.9]	29,445 (0.3) [0.8]	9,838 (-1.2) [-0.3]	9,721 (-0.7) [0.9]	9,954 (6.9) [-3.2]	9,842 (1.2) [-15.8]
” (Ex 船・電)	25,098 (2.6) [2.1]	26,785 (6.7) [3.4]	24,312 (-9.2) [-6.5]	26,080 (7.3) [6.5]	24,539 (-5.9) [3.7]	8,919 (4.9) [5.2]	8,437 (-3.3) [4.3]	8,498 (8.3) [-0.9]	8,783 (4.1) [-5.6]
製 造 業	10,266 (-3.0) [-3.1]	11,677 (13.7) [4.3]	10,110 (-13.4) [-12.9]	10,563 (4.5) [-0.5]	10,162 (-3.8) [1.5]	3,355 (-5.0) [-1.5]	3,666 (17.7) [-3.8]	3,677 (0.3) [-1.4]	3,310 (-1.4) [-9.0]
非製造業 (Ex 船・電)	14,565 (5.6) [6.3]	15,071 (3.5) [2.6]	14,325 (-5.0) [-1.0]	15,503 (8.2) [11.8]	14,541 (-6.2) [4.8]	5,103 (-0.9) [7.8]	4,838 (2.1) [1.8]	5,251 (8.6) [11.3]	5,336 (4.6) [-3.9]
官 公 需	6,563 (-11.1) [-18.4]	7,876 (20.0) [18.6]	6,830 (-13.3) [-14.6]	7,585 (11.0) [-6.4]	6,321 (-16.7) [11.7]	2,919 (22.0) [33.6]	2,206 (-10.3) [-25.2]	2,393 (12.3) [-8.4]	2,724 (23.5) [31.2]
外 需	31,946 (9.1) [17.0]	23,439 (-26.6) [-18.8]	24,305 (3.7) [-13.6]	22,836 (-6.0) [-21.7]	23,426 (2.6) [-26.2]	7,248 (-11.7) [-32.9]	7,850 (1.4) [-16.7]	8,205 (10.8) [-16.8]	7,998 (1.9) [-35.3]
代 理 店	3,349 (3.4) [7.2]	3,559 (6.3) [17.3]	3,255 (-8.5) [6.3]	3,552 (9.1) [10.1]	3,269 (-8.0) [-1.3]	1,189 (4.1) [17.4]	1,214 (5.6) [7.6]	1,143 (12.5) [6.9]	1,111 (-8.4) [-0.7]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内10月の新設住宅着工総数は2,810戸(前年同月比3.6%増)となり前年を上回り、前月比では427戸の増加となった。

また、利用関係別では「持家」が875戸(前年同月比0.7%増)、「貸家」が1,032戸(同23.6%増)、「分譲住宅」が894戸(同10.5%減)となった。

10月の新設住宅着工戸数 (速報、単位：戸、%)

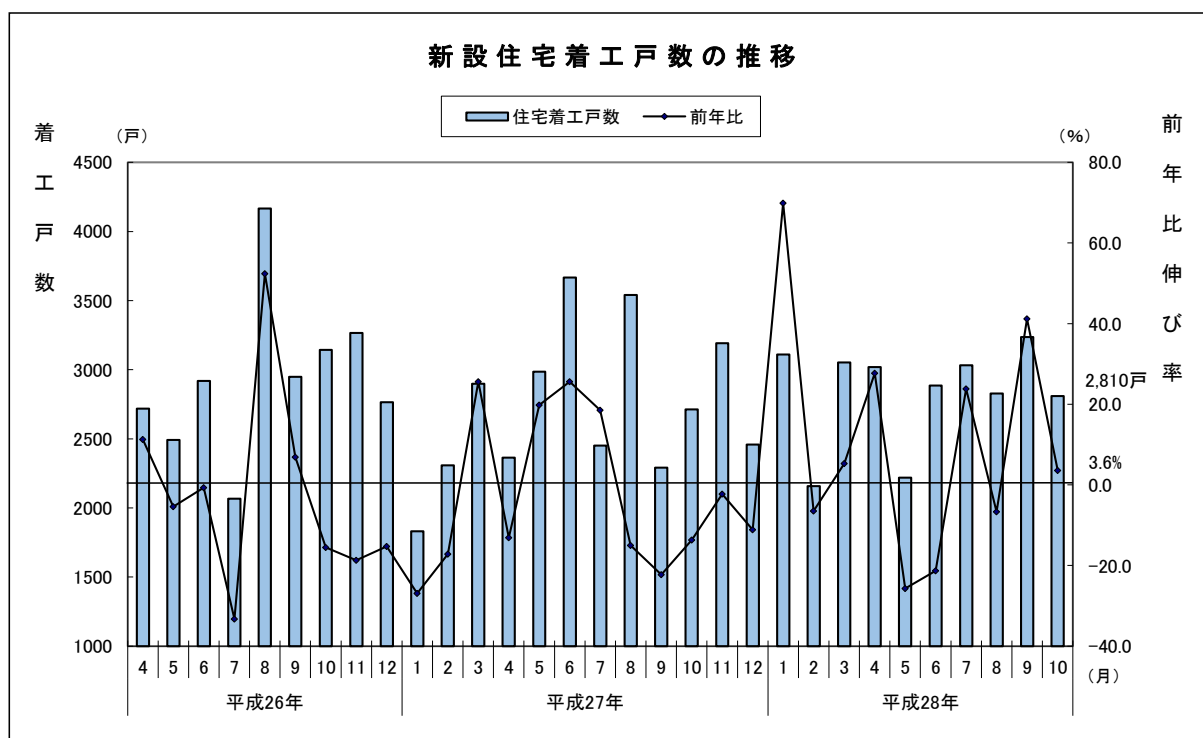
	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	875	0.7	26,046	4.9
・分譲住宅	894	▲10.5	21,050	11.7
貸家系・貸家	1,032	23.6	39,950	22.0
・給与住宅	9	▲10.0	661	▲9.2
総数	2,810	3.6	87,707	13.7

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

10月の地域別着工戸数 (戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	754	510	349	420	139	411	65	86	50	26	2,810
前月比	-16.2	9.0	-52.5	10.5	-14.2	2.2	-1.5	65.4	28.2	-21.2	-13.2

資料：兵庫県住宅政策課



【公共工事】

11月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は414件で前年同月比10.2%の減少、請負金額は167億81百万円で前年同月比30.1%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市」前年同月比21.3%の増加となったが、「神戸市を除く市町」同8.5%、「独立行政法人等」同20.5%、「兵庫県」同36.9%、「その他の団体」同70.5%、「国」同74.5%の減少となったため、前年同月比30.1%の減少となった。

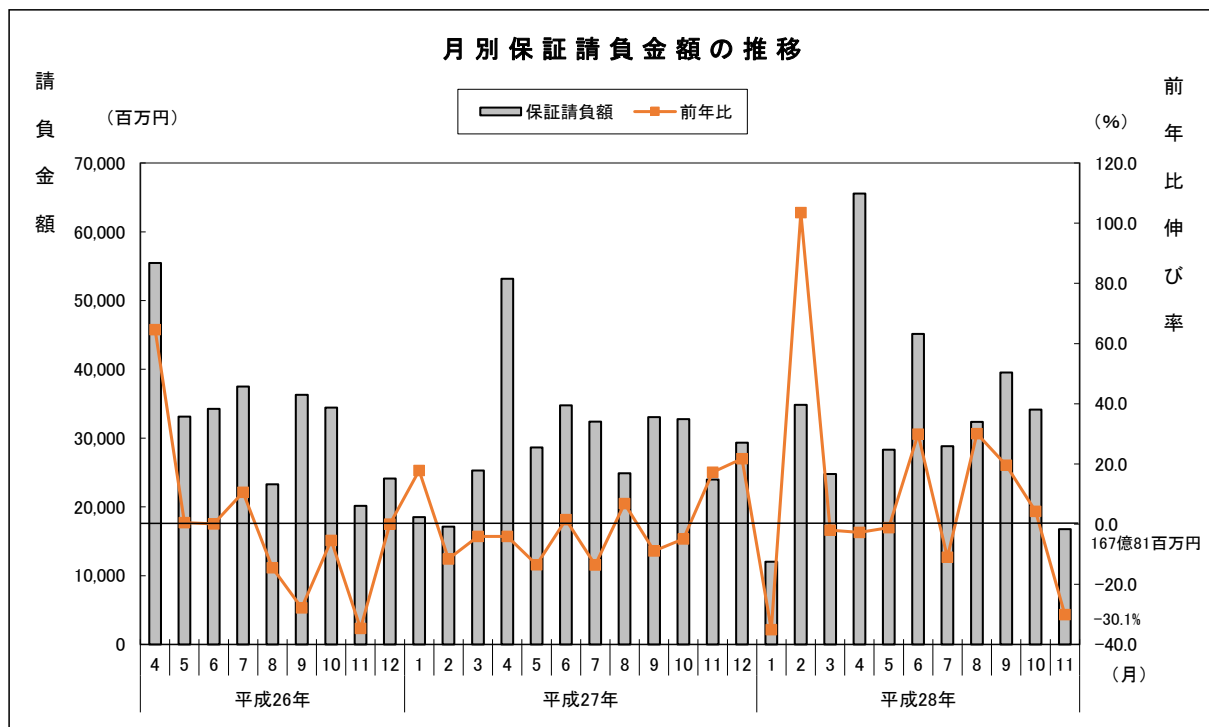
地域別(金額ベース)では、西播磨(前年同月比93.7%増)、神戸市(同9.7%増)、北播磨(同9.2%増)が増加したが、阪神北(同9.8%減)、丹波(同36.8%減)、但馬(同42.0%減)、阪神南(同44.2%減)、東播磨(同45.5%減)、中播磨(同46.8%減)、淡路(同74.8%減)が減少したため、前年同月比30.1%の減少となった。

11月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：％

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	10(0.0)	607(▲74.5)	
独立行政法人等	7(▲12.5)	1,135(▲20.5)	名神高速道路尼崎地区遮音壁改良工事
兵庫県	106(▲26.9)	5,073(▲36.9)	
神戸市	65(4.8)	3,289(21.3)	市営桜の宮住宅建替事業(1期)事業契約建設事業
神戸市を除く市町	203(▲ 4.2)	5,742(▲ 8.5)	
その他の団体	23(▲ 4.2)	932(▲70.5)	
合計	414(▲10.2)	16,781(▲30.1)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿 易】

平成 28 年 11 月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は 6,834 億円、前年同月比 1.2%の減少で、総額ベースで 14 か月連続して減少となった。輸出は原動機などが増加したものの、科学光学機器、有機化合物などが減少した。一方、輸入は無機化合物などが増加したものの、衣類及び同付属品、家庭用電気機器などが減少した。

輸出は 4,262 億円(前年同月比 0.8%減)と 9 か月連続して減少した。

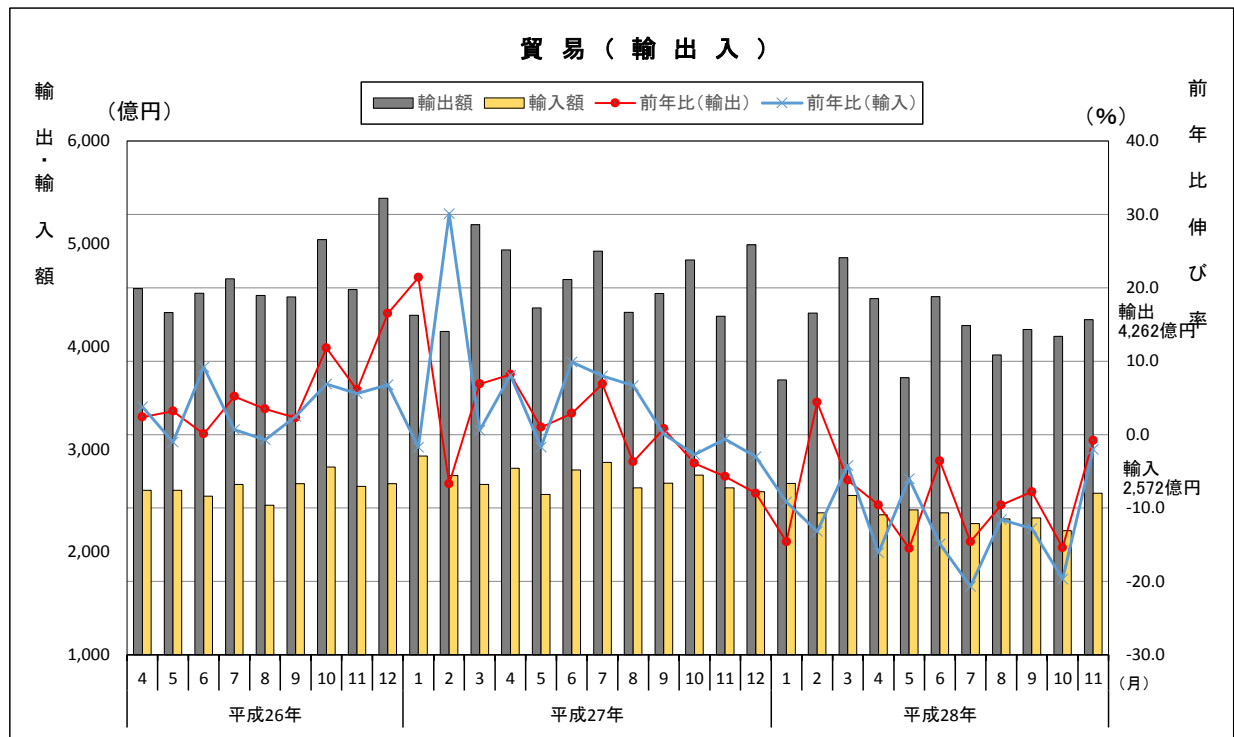
主要品目では、原動機(前年同月比 52.6%増、8 か月ぶりにプラス)、建設用・鉱山用機械(同 33.2%増、4 か月連続プラス)、プラスチック(同 2.4%増、2 か月ぶりにプラス)が増加したものの、織物用糸及び繊維製品(同 5.1%減、9 か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、アジア(中国含む)(前年同月比 2.1%増、9 か月ぶりにプラス)が増加したものの、中国(同 1.1%減、9 か月連続マイナス)、EU(同 2.0%減、5 か月連続マイナス)、米国(同 10.7%減、5 か月連続マイナス)が減少した。

輸入は 2,572 億円(前年同月比 2.0%減)と 14 か月連続して減少した。

主要品目では、たばこ(前年同月比 11.9%増、16 か月ぶりにプラス)、非鉄金属(同 4.5%増、16 か月ぶりにプラス)が増加したものの、有機化合物(同 15.6%減、2 か月連続マイナス)、衣類及び同付属品(同 16.0%減、6 か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比 14.0%増、10 か月ぶりにプラス)、EU(同 7.8%増、2 か月ぶりにプラス)、アジア(中国を含む)(同 9.8%減、8 か月連続マイナス)、中国(同 11.6%減、8 か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

11月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.6(平成27年=100)となり、前月比0.1%の減少、前年同月比0.4%の増加となった。生鮮食品を除く総合指数は100.0となり、前月比0.1%の減少、前年同月比0.5%の減少となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は100.8となり、前月比は変わらず、前年同月比0.3%の増加となった。

前月からの動きを見ると、衣料の増加により「被服及び履物」が0.5%、家事用消耗品などの増加により「家具・家事用品」が0.4%、電気代などの増加により「光熱・水道」が0.2%増加した。

しかし、肉類などの減少により「食料」が0.2%、理美容用品などの減少により「諸雑費」が0.4%、教養娯楽サービスなどの減少により「教養娯楽」が0.2%、医薬品・健康保持用摂取品の減少により「保健医療」が0.1%減少した結果、総合指数では0.1%の減少となった。

11月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指 数	100.6	102.7	100.8	90.4	98.9	104.3	100.8	98.2	101.3	101.6	101.5	100.0	100.8
前月比	▲0.1	▲0.2	0.0	0.2	0.4	0.5	▲0.1	0.0	0.0	▲0.2	▲0.4	▲0.1	0.0
前年同月比	0.4	2.5	0.8	▲7.1	▲1.1	▲0.3	0.7	▲1.6	1.1	0.8	0.9	▲0.5	0.3

(注)平成27=100

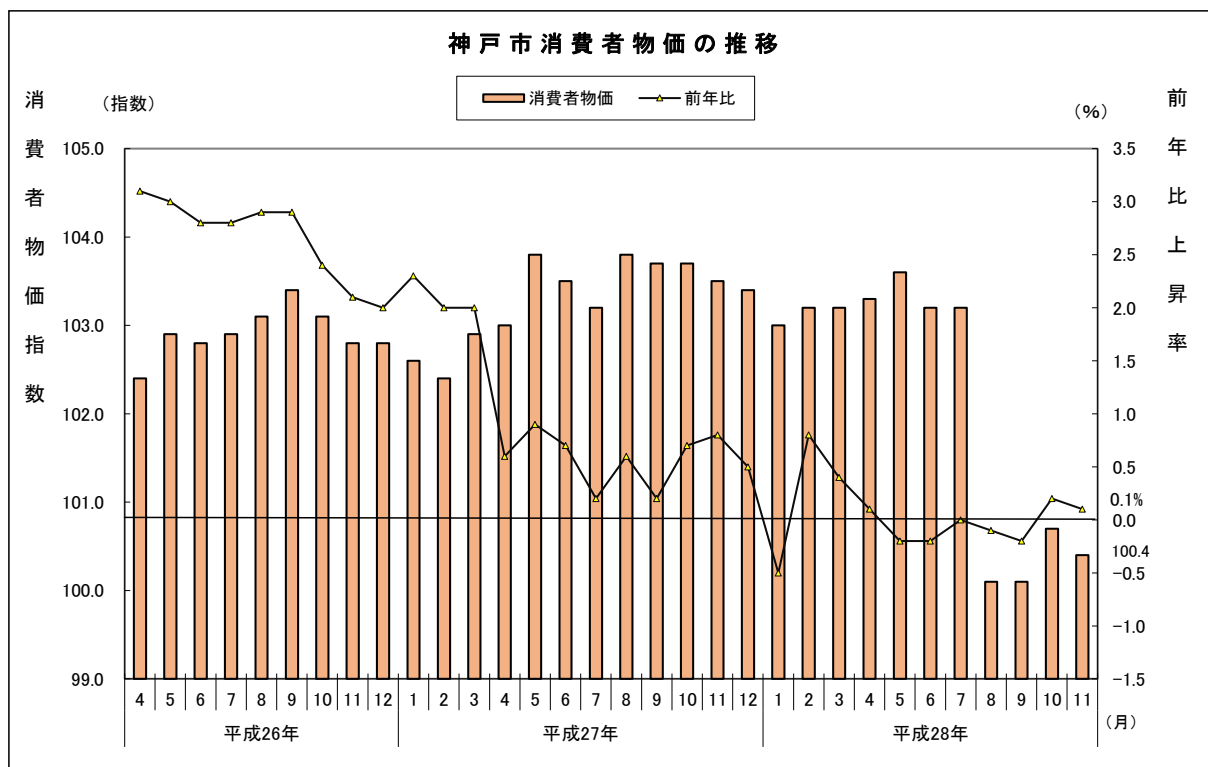
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

衣料 (+ 1.4%)・・・コート(婦人用・男子用)、女兒用スカート
家事用消耗品 (+ 2.7%)・・・台所用洗剤、ポリ袋

○対前月比値下がりした主な品目

肉類 (▲ 1.3%)・・・鶏肉、ハム
理美容用品 (▲ 1.6%)・・・ファンデーション(カウンセリングを除く)、シャンプー



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が12月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2016年11月の企業物価指数は次のとおり。

11月の企業物価指数 (速報、2010年=100)

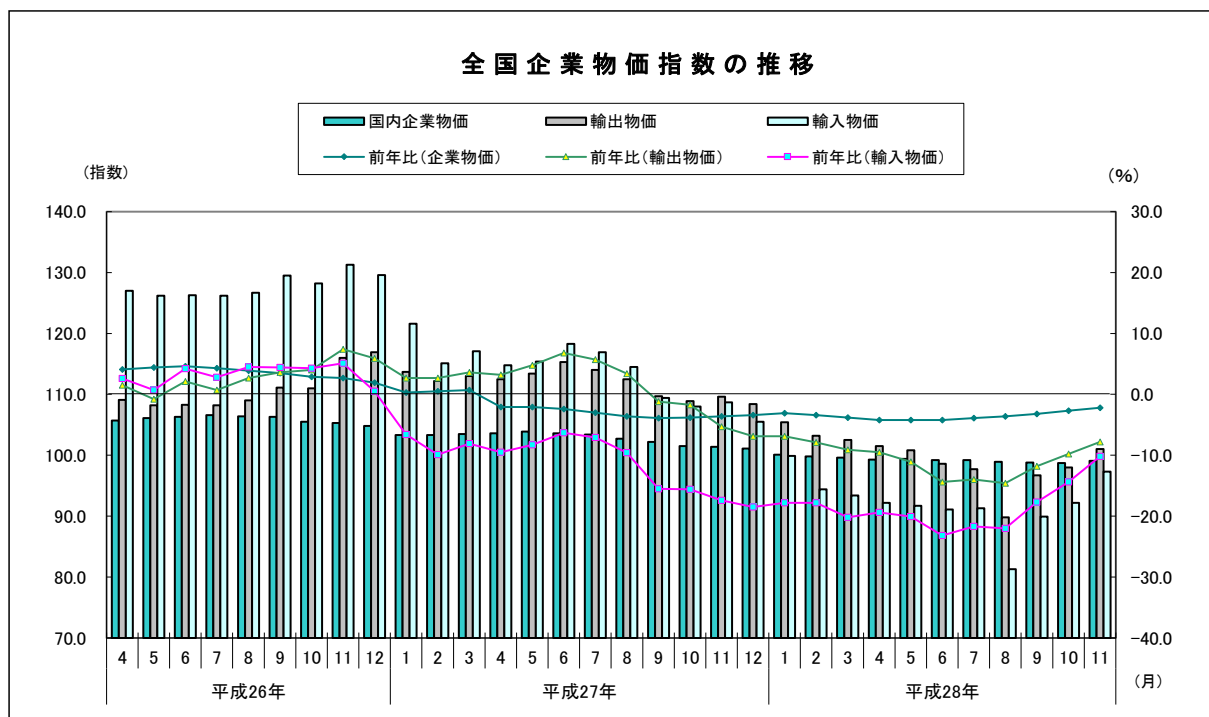
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	99.1	0.4	▲ 2.2
輸 出 物 価	101.0	3.1	▲ 7.8
輸 入 物 価	97.3	5.4	▲10.2

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、スクラップ類(前月比12.0%増<鉄くずなど>)、非鉄金属(同4.7%増<銅地金など>)、農林水産物(同1.6%増<鶏卵など>)、石油・石炭製品(同1.1%増<軽油など>)、鉄鋼(同0.3%増<小形棒鋼など>)、はん用・生産用・業務用機器(同1.3%増<複写機など>)、電力・都市ガス・水道(同0.3%増<大口都市ガスなど>)、化学製品(同0.2%増<ベンゼンなど>)等が増加し、円ベースでは前月比0.4%の増加(前年同月比2.2%減少)となった。

輸出物価は、金属・同製品(前月比4.9%増<鉄くずなど>)、化学製品(同4.6%増<トルイレンジイソシアネートなど>)、電気・電子機器(同3.3%増<モス型メモリ集積回路など>)、その他産品・製品(同2.6%増<ジェット燃料油など>)、はん用・生産用・業務用機器(同1.3%増<半導体製造装置など>)等が増加し、円ベースでは前月比3.1%の増加(前年同月比7.8%減少)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比11.3%増<原油など>)、金属・同製品(同6.0%増<銅鉱など>)、電気・電子機器(同3.8%増<モス型メモリ集積回路など>)、食料品・飼料(同3.1%増<とうもろこしなど>)、輸送用機器(同2.9%増<普通乗用車など>)が増加し、円ベースでは前月比5.4%の増加(前年同月比10.2%の減少)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内 10 月の新規求人数(全数)は、34,757 人(前年同月比 2.1%増)で、13 か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は 93,667 人(同 7.2%増)で 78 か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比 1.1%減で 7 か月ぶりに前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同 6.3%増で 10 か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同 3.1%減で 13 か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、製造業(前年同月比 3.1%増)、宿泊業、飲食サービス業(13.5%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同 12.1%増)、医療、福祉(同 0.7%増)、サービス業(同 10.0%増)で前年度を上回ったが、建設業(同 4.6%減)、運輸業、郵便業(同 6.1%減)、卸売、小売業(同 8.5%減)、学術研究、専門術サービス業(同 13.6%減)で前年を下回った。

(2) 求職状況

10 月の新規求職申込件数(全数)は 17,669 件(前年同月比 11.7%減)で 2 か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、78,753 人(同 6.2%減)で 77 か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比 13.8%減で 2 か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同 7.7%減で 2 か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比 2.6%増で 2 か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比 10.6%減で 2 か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同 20.7%減で 10 か月連続、自己都合離職者は同 12.2%減で 11 か月連続、自営・他は同 24.1%減で 2 か月連続して前年を下回り、無業者は同 19.7%減で 58 か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、19,217 人(前年同月比 10.2%減)で 45 か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

10 月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が 1.86 倍(前月比 0.09 ポイント増)で前月を上回り、有効求人倍率については 1.17 倍(前月比 0.03 ポイント増)で前月を上回った。

(4) 失業者の状況

10 月の全国の完全失業率(季節調整値)は 3.0%、完全失業者数(原数値)は 195 万人(前年同月比 13 万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は 3.3%(前年同月比 0.3 ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は 35 万人(前年同月比 2 万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
28年10月	34,757	2,249	4,170	364	1,619	4,371	241	787	835	4,069	1,227	9,308	4,382
前年同月比	2.1	▲4.6	3.1	19.7	▲6.1	▲8.5	92.8	21.3	▲13.6	13.5	12.1	0.7	10.0

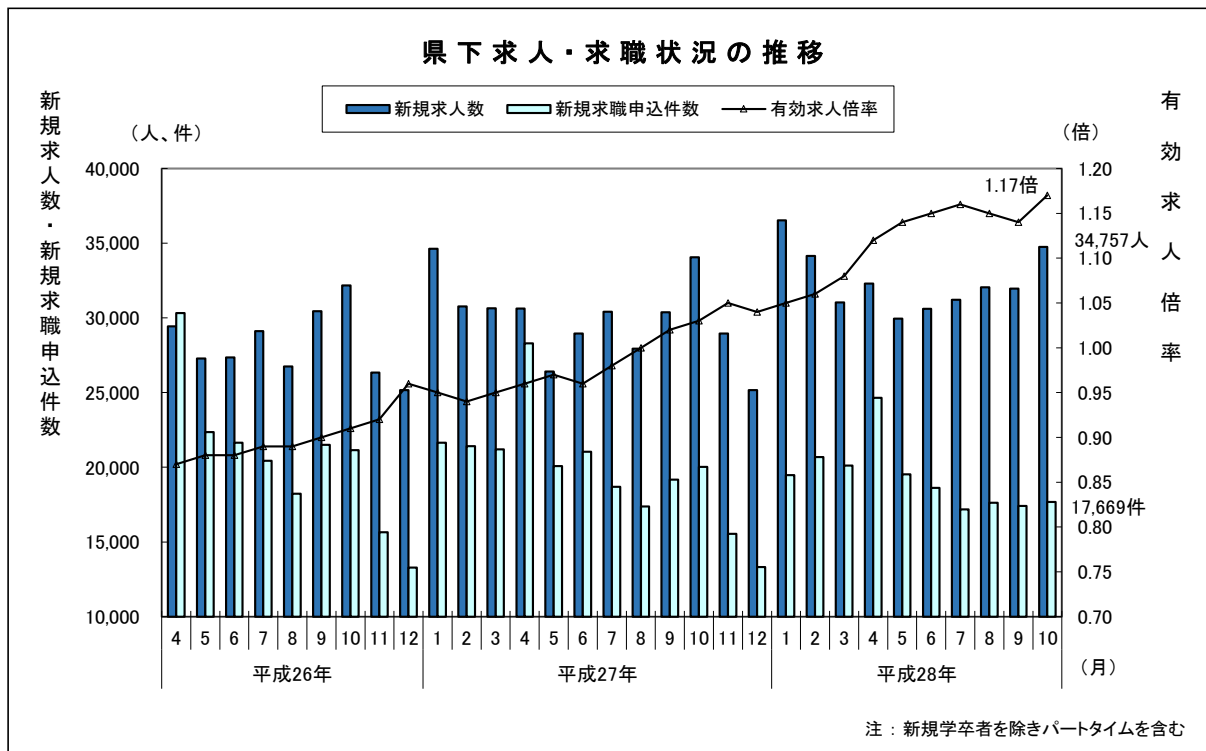
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	15/7-9	15/10-12	16/1-3	16/4-6	16/8	16/9	16/10
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	1.00	1.03	1.06	1.13	1.15	1.14	1.17
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	2.8	5.4	5.9	8.2	14.7	5.2	2.1
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	2.8	1.6	▲4.5	▲6.8	▲10.7	▲7.8	▲11.5
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.7	0.8	0.9	0.7	1.0	0.9	0.4
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	1.7	▲0.2	0.6	0.3	0.0	0.2	▲0.3

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

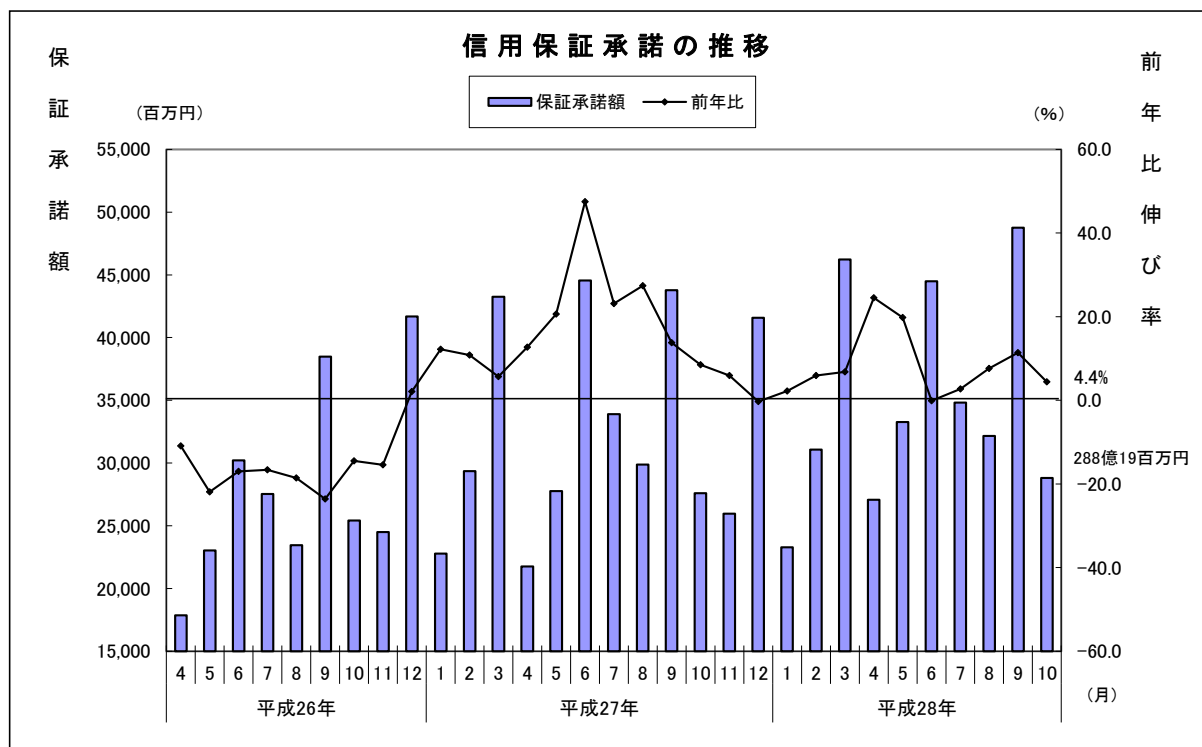
兵庫県信用保証協会による10月の保証承諾実績は、件数で1,852件(前年同月比0.2%減)、金額は288億19百万円(同4.4%増)となり、前年同月実績と比べ、件数は下回ったが、金額は上回った。

資金使途別では、運転資金26,252百万円(前年同月比5.9%増)、設備資金815百万円(同27.7%減)となり、前年同月と比べ、運転資金は上回り、設備資金は下回った。

業種別(金額ベース)では、「建設業」8,006百万円(前年同月比25.2%増)、「小売業」3,618百万円(同17.4%増)、「飲食店」989百万円(同16.4%増)、「サービス業」3,622百万円(同13.0%増)で前年同月を上回り、「卸売業」4,474百万円(同5.0%減)、「製造業」4,919百万円(同6.6%減)、「運送・倉庫業」1,414百万円(同15.7%減)、「不動産業」1,361百万円(同27.8%減)で前年同月を下回った。

10月末の保証債務残高は、92,702件(前年同月比3.8%減)、1兆785億75百万円(同0.6%減)となった。

一方、同月の代位弁済は、133件(前年同月比19.9%減)、14億45百万円(同37.0%減)となった。



【金 融】

10 月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

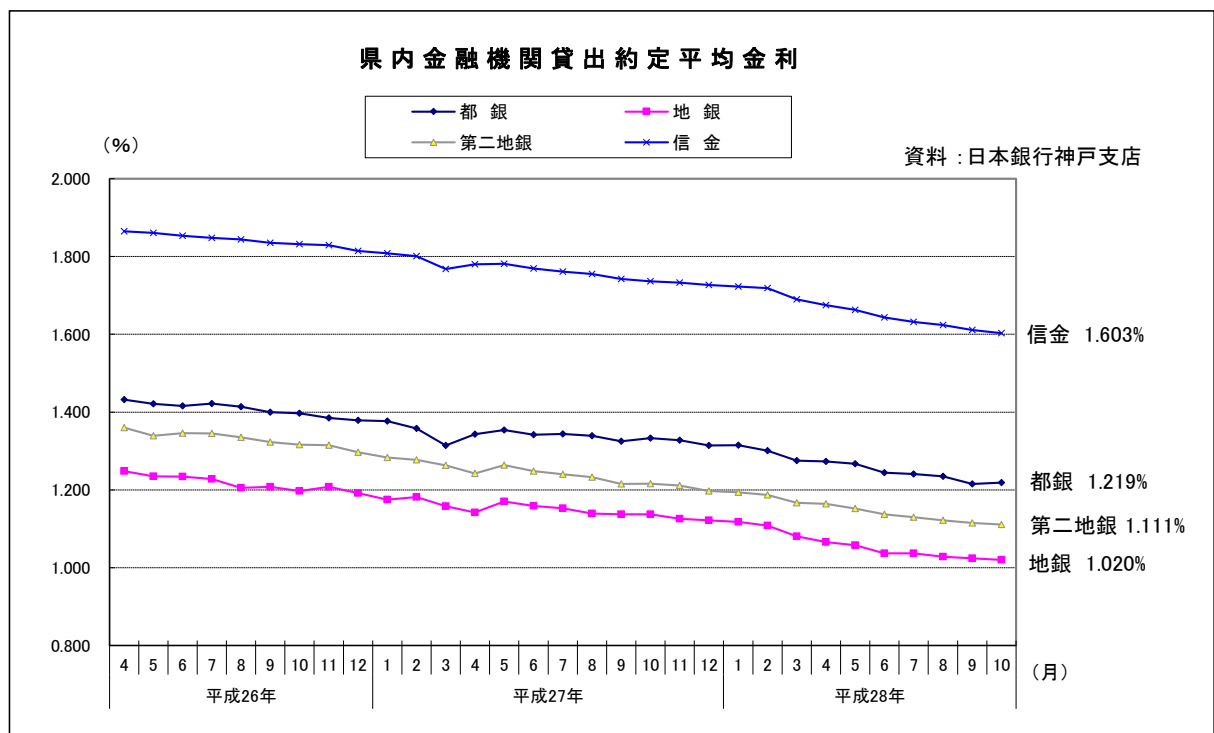
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	157,808	2.9	52,515	▲ 1.3
地 方 銀 行	27,240	2.1	25,518	6.0
第 二 地 方 銀 行	34,100	1.3	22,668	2.1
信 用 金 庫	85,042	1.7	39,176	1.8
そ の 他	17,779	1.5	17,394	▲ 0.3
計	321,969	2.2	157,271	1.2

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

10 月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比 2.2%増)

10 月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比 1.2%増)

10 月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準 1.302%、前月比▲0.002%ポイント)。



【倒 産】

県内 11 月の企業倒産件数（負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は 29 件で前月比 10 件（25.64％）の減少、前年同月比 17 件（36.95％）の減少となり、負債総額は 90 億 56 百万円で前月比 67 億 14 百万円（286.67％）の増加、前年同月比 21 億 82 百万円（31.74％）の増加となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が 22 件（全体の 75.9％）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が 8 件（前年同月比 6 件減少）でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金 1,000 万円未満の倒産が 17 件発生し、全体の 58.6％を占めた。

負債総額をこれまでと比較すると中規模な倒産がやや見られたものの、個別に見ていくと、資本金別では、個人企業他を含めた資本金 1,000 万円未満は 17 件発生、負債額別では 1 億円未満が 20 件発生となっており、全体的には「小規模倒産」が多い状況に大きな変化はなく、今年も残り 1 か月を残す中において、年間の倒産件数は前年を下回ると見られる。

アメリカ大統領選挙後の円安ドル高基調や総じて株高で推移している株式市況、また、原油減産合意に伴う原油高予想など様々な追い風要因が散見される。

しかし、一方で根強い節約志向など足元の景況感には引き続き厳しさが窺え、実際に、11 月の兵庫県下における原因別では販売不振を中心とした「不況型倒産」が 22 件発生していることを踏まえると、今しばらくは規模の小さい倒産を中心とした現況が続くものと見られる。

11 月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額 1,000 万円以上）

原 因 別						業 種 別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放 漫 経 営	1	4	▲ 3	5	▲ 4	建 設 業	3	4	▲ 1	6	▲ 3
過 小 資 本	1	1	0	1	0	製 造 業	4	8	▲ 4	4	0
連 鎖 倒 産	2	1	▲ 1	1	1	卸 売 業	4	8	▲ 4	9	▲ 5
赤 字 累 積	3	3	0	7	▲ 4	小 売 業	3	6	▲ 3	5	▲ 2
販 売 不 振	20	29	▲ 9	32	▲ 12	情 報 通 信 業	1	1	0	1	0
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サ ー ビ ス 業	8	9	▲ 1	14	▲ 6
そ の 他	2	1	▲ 1	0	2	不動産・運輸業他	6	3	3	7	▲ 1
合 計	29	39	▲ 10	46	▲ 17	合 計	29	39	▲ 10	46	▲ 17

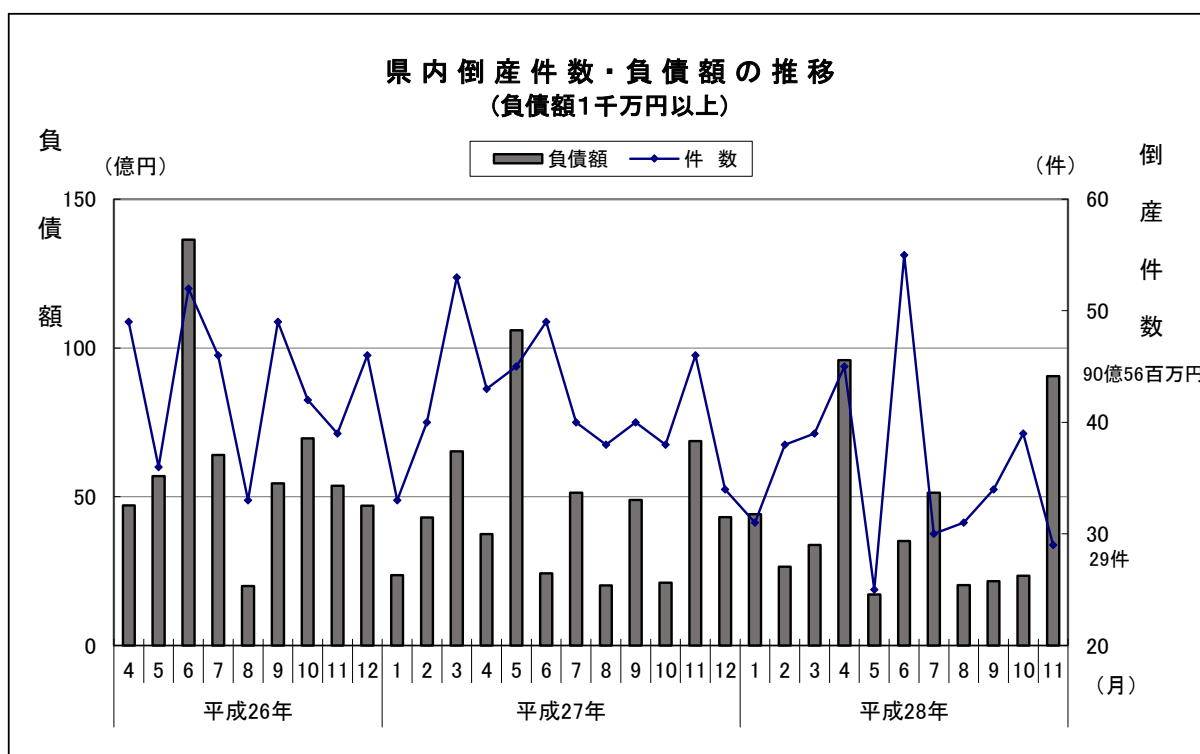
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額 1,000 万円以上）

（単位：件数）

年 月	総 数	神 戸	阪 神	西 播	東 播	但 馬	丹 波	淡 路
21 年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22 年 平均	60.8	20.8	20.6	9	6.9	1.4	0.7	1.4
23 年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24 年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25 年 平均	44.6	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26 年 平均	43	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27 年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28 年 1 月	31	11	9	5	5	0	0	1
28 年 2 月	38	14	11	5	6	0	1	1
28 年 3 月	39	10	17	6	4	0	1	1
28 年 4 月	45	17	14	7	6	1	0	0
28 年 5 月	25	10	8	1	3	2	0	1
28 年 6 月	55	18	18	8	7	3	1	0
28 年 7 月	30	13	11	5	1	0	0	0
28 年 8 月	31	11	12	2	4	1	0	1
28 年 9 月	34	12	11	3	7	0	1	0
28 年 10 月	39	17	10	4	8	0	0	0
28 年 11 月	29	6	11	4	4	1	2	1

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (22年=100)		全 国 (22年=100)		兵庫県		全 国	兵庫県		全 国
	指 数	前月比 (%)	指 数	前月比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	戸 数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)
27年 1月	107.8	7.6	102.4	3.7	185	17.8	0.9	1,830	-26.9	-13.0
2月	103.0	-4.5	98.9	-3.1	171	-11.6	1.0	2,308	-17.2	-3.1
3月	110.3	6.8	98.1	-0.8	253	-4.1	-0.3	2,898	13.9	0.7
4月	99.4	-10.0	99.3	1.2	531	-4.1	4.4	2,364	-13.1	0.4
5月	101.5	1.5	97.2	-2.1	286	-13.5	-3.4	2,985	19.8	5.8
6月	95.4	-5.9	98.3	1.1	347	1.5	-2.9	3,667	25.6	16.3
7月	98.9	2.5	97.5	-0.8	324	-13.6	-4.7	2,450	18.5	7.4
8月	97.5	-2.2	96.3	-1.2	248	6.8	-4.2	3,540	-15.0	8.8
9月	96.7	-1.6	97.4	1.1	330	-8.9	-5.3	2,292	-22.3	2.6
10月	95.1	-2.0	98.8	1.4	327	-4.9	-5.2	2,713	-13.7	-2.5
11月	98.9	4.0	97.9	-0.9	239	17.2	-4.6	3,191	-2.3	1.7
12月	94.3	-5.3	96.2	-1.7	293	21.7	-4.9	2,458	-11.1	-1.3
28年 1月	97.7	3.6	99.8	3.7	120	-35.1	-4.8	3,110	6.9	0.2
2月	101.7	3.6	93.2	-5.2	348	103.5	-4.7	2,158	-30.6	7.8
3月	99.5	-2.1	96.7	3.8	247	-2.0	-2.1	3,053	41.5	8.4
4月	100.2	0.5	97.2	0.5	655	23.3	10.6	3,019	27.7	9.0
5月	96.3	-4.7	94.7	-2.6	283	-1.2	1.4	2,218	-25.7	9.8
6月	101.3	5.2	96.9	2.3	451	29.9	-1.8	2,885	-21.3	-2.5
7月	96.6	-4.6	96.5	-0.4	288	-11.0	-6.9	3,032	23.8	8.9
8月	97.9	2.6	97.8	1.3	323	30.1	12.0	2,828	-20.1	2.5
9月	104.5	6.7	98.4	0.6	395	19.6	18.1	3,237	41.2	10.0
10月	97.2	-6.9	98.4	0.0	341	4.2	-10.0	2,810	3.6	13.7
11月					414	-10.2	-4.0			
12月										
29年 1月										
2月										
3月										
資 料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅宅地課		国 土 交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全 国	兵庫県		全 国 (既存店)	輸 出		輸 入	
	台 数	前年比	前年比	金 額	前年比	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比
	(台)	(%)	(%)	(億円)	(%)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
27年 1月	14,292	-16.2	-20.7	172	-3.6	-0.4	4,304	21.4	2,934	-1.7
2月	17,426	-13.2	-15.8	139	-1.3	-17.7	4,145	-6.7	2,744	30.1
3月	21,773	-15.4	-11.9	171	-21.3	-17.7	5,185	6.9	2,658	0.6
4月	10,209	-4.9	-10.1	145	11.6	13.7	4,939	8.2	2,816	8.1
5月	11,397	-0.6	-8.2	153	5.7	6.3	4,376	1.0	2,560	-1.7
6月	14,318	-0.1	-3.8	149	-2.8	0.4	4,652	2.9	2,799	9.9
7月	13,853	-7.4	-9.1	177	3.5	0.4	4,928	6.9	2,873	8.0
8月	10,798	-0.5	-3.5	143	4.1	2.7	4,332	-3.7	2,627	6.8
9月	15,892	-9.8	-7.4	140	2.9	1.9	4,517	0.9	2,672	0.2
10月	12,686	-1.1	-4.0	155	2.9	4.2	4,843	-3.9	2,752	-2.7
11月	12,871	-3.6	-7.6	164	-4.4	-2.6	4,295	-5.7	2,625	-0.5
12月	12,131	-16.7	-14.6	233	-1.3	0.3	4,991	-8.0	2,586	-3.0
28年 1月	13,623	-4.7	-4.4	167	-2.9	-1.5	3,677	-14.6	2,688	-9.2
2月	15,837	-9.1	-7.5	138	-1.0	0.5	4,326	4.4	2,383	-13.2
3月	20,638	-5.2	-9.3	161	-5.9	-2.8	4,863	-6.2	2,551	-4.2
4月	11,125	9.0	2.2	141	-2.4	-3.6	4,466	-9.6	2,362	-16.1
5月	11,207	-1.7	-1.4	147	-3.7	-4.8	3,697	-15.5	2,410	-6.0
6月	13,684	-4.4	-5.6	144	-3.2	-3.6	4,484	-3.6	2,382	-14.9
7月	13,775	-0.6	-2.2	177	0.0	-0.2	4,203	-14.6	2,278	-20.7
8月	10,542	-2.4	2.9	134	-6.3	-3.6	3,918	-9.6	2,322	-11.6
9月	15,540	-2.2	-0.7	131	-6.7	-3.2	4,165	-7.8	2,332	-12.8
10月	12,801	0.9	-0.2	149	-3.7	-1.0	4,098	-15.4	2,208	-19.7
11月	13,901	8.0	8.8	156	-5.1		4,262	-0.8	2,572	-2.0
12月										
29年 1月										
2月										
3月										
資 料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神 戸 税 関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項 目 年 月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (H28.7より27年=100)			
	兵庫県	全 国	全産業	前年比	指 数 (22年=100)	前年比	神戸市		全 国	
							指 数	前年比	指 数	前年比
	(季調値)	(季調値)	(千人)	(%)			(%)		(%)	
27年 1月	0.95	1.14	1,032	-0.2	96.8	-0.1	102.3	2.3	103.3	2.4
2月	0.94	1.15	1,040	0.0	96.0	-0.9	102.4	-0.1	103.1	2.4
3月	0.95	1.15	1,032	-0.7	96.9	0.4	102.9	2.0	103.3	2.3
4月	0.96	1.17	1,053	0.4	98.4	0.0	103.2	0.6	103.7	0.6
5月	0.97	1.19	1,055	0.5	96.4	-1.3	103.8	0.9	104.0	0.5
6月	0.96	1.19	1,045	0.5	97.6	-0.5	103.5	0.7	103.8	0.4
7月	0.98	1.21	1,055	0.6	97.4	0.3	103.2	0.2	103.7	0.2
8月	1.00	1.23	1,052	0.4	97.5	-0.1	103.8	0.6	103.9	0.2
9月	1.02	1.24	1,052	0.7	97.7	1.3	103.7	0.2	103.9	0.0
10月	1.03	1.24	1,024	0.9	97.6	0.3	103.8	0.7	103.9	0.3
11月	1.05	1.25	1,057	0.8	97.9	0.8	103.5	-0.3	103.5	0.3
12月	1.06	1.27	1,057	1.1	97.9	0.7	103.4	-0.1	103.0	0.0
28年 1月	1.05	1.28	1,052	1.0	97.2	0.4	103.0	-0.5	103.2	0.3
2月	1.06	1.28	1,048	0.8	97.8	1.9	103.2	0.8	103.2	0.3
3月	1.08	1.30	1,042	1.0	99.4	2.6	103.2	0.4	103.3	-0.1
4月	1.12	1.34	1,059	0.5	99.4	1.0	103.3	0.1	103.4	-0.3
5月	1.14	1.36	1,061	0.5	98.5	2.2	103.6	-0.2	103.6	-0.4
6月	1.15	1.37	1,063	0.8	98.2	0.6	103.2	-0.2	103.3	-0.4
7月	1.16	1.37	1,060	0.5	98.9	1.5	103.2	0.0	99.6	-0.4
8月	1.15	1.37	1,057	0.5	98.4	1.5	100.1	-0.1	99.7	-0.5
9月	1.14	1.38	1,055	0.3	98.9	1.2	100.1	-0.2	99.8	-0.5
10月	1.17	1.40	1,053	0.0	98.6	1.0	100.7	0.2	100.4	0.1
11月							100.6	-0.1		
12月										
29年 1月										
2月										
3月										
資 料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総 務 省	

項 目 年 月	国内企業物価指数 (H24.5より22年＝100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全 国		金 額		全国銀行	倒 産 件 数	負 債 総 額	地域別倒産件数		
	指 数	前年比	(各期末)	前年比				神 戸	阪 神	播磨他
		(%)	(億円)	(%)	(年%)	(件)	(億円)	(件)	(件)	(件)
27年 1月	103.3	0.3	154,351	1.3	1.179	33	33	14	10	9
2月	103.3	0.5	154,880	1.7	1.173	40	42	12	15	13
3月	103.5	0.7	158,666	2.1	1.158	53	65	14	23	16
4月	103.6	-2.1	155,375	2.0	1.157	43	37	15	13	15
5月	103.9	-2.1	154,428	0.7	1.153	45	105	16	11	18
6月	103.6	-2.4	154,717	1.3	1.141	49	24	21	16	12
7月	103.4	-3.0	154,763	1.5	1.137	40	51	17	7	16
8月	102.7	-3.6	154,623	1.1	1.135	38	20	18	7	13
9月	102.2	-3.9	156,038	1.5	1.125	40	48	14	12	14
10月	101.5	-3.8	155,425	1.5	1.125	38	21	15	10	13
11月	101.4	-3.6	155,242	1.2	1.121	46	68	22	9	15
12月	101.1	-3.4	156,968	1.3	1.110	34	43	13	9	21
28年 1月	100.1	-3.1	156,038	1.1	1.108	31	44	11	9	11
2月	99.8	-3.4	155,727	0.5	1.098	38	26	14	11	13
3月	99.6	-3.8	161,190	1.6	1.076	39	33	10	17	12
4月	99.3	-4.2	156,431	0.7	1.066	45	95	17	14	14
5月	99.4	-4.2	155,843	0.9	1.054	25	17	10	8	7
6月	99.2	-4.2	156,758	1.3	1.039	55	35	18	18	19
7月	99.2	-3.9	157,441	1.7	1.033	30	51	13	11	6
8月	98.9	-3.6	156,920	1.5	1.026	31	20	11	12	8
9月	98.8	-3.2	158,317	1.5	1.014	34	21	12	11	11
10月	98.7	-2.7	157,271	1.2	1.014	39	23	17	10	12
11月	99.1	-2.2				29	90	6	11	12
12月										
29年 1月										
2月										
3月										
資 料	日 本 銀 行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値